

山内君を偲ぶ

梅田 富雄(化工会)



突然の訃報にショックを受けると共に、なんとなく寂しい思いをしました。歳を重ねると毎日が楽しく、面白いことが生じることを願って過ごしている人も多いと思いますが、突然に出来事に程度の差はあれ、右往左往するを経験しています。

山内君との出会いは覚えていませんが、あたりを楽しくする雰囲気を持っていたとの記憶はどこかに残っています。彼も米国パデュー大学に留学していたこともあって、時折そのときの経験を話し合ったようにも思います。シカゴ郊外にある大学には一度訪れたことがあります

が、快適なこじんまりした雰囲気のカンパスで、おそらくテニスなどを楽しみながらキャンパスライフを送っていたのではと想像します。

最近までの編集会議での言動を鮮明に覚えています。先ず思い出すことはワインに関する会話、次にテニスの話、いつか対戦しようとの申し入れを受けていましたが、学生時代から田園調布あたりのテニスクラブに出入りしていたと聞いていたことや熟年して始めたプレイヤーは見ればわかるとの話などから、とても格が違いすぎるように感じていたことで、場所や時間をセットしなかったことでチャンスを逸してしまいました。編集会議での出来事として今でも思い出し刺激になっていることがあります。それは太ももを比較して彼のはとても固く締まっており、私の太ももはぶよぶよであったのをきっかけに適時筋トレに心がけている次第です。

健康上の悩み事は抱えていなかったと想像されますが、編集会議ではいつも明るく我々を楽しませてくれました。ご冥福をお祈りいたします。